



我們少逃黨
在這場戰爭中
最後的任務

就是向「南部」
傳達「中部」
戰場的敗北

☆戰爭的結局是...!!



「南部」戰場的
海野殿下和禰津殿下
旋即趕往「中部」

「逃げ上手の若君」



三大將拼死奮戰
救出了走投無路的
四宮黨

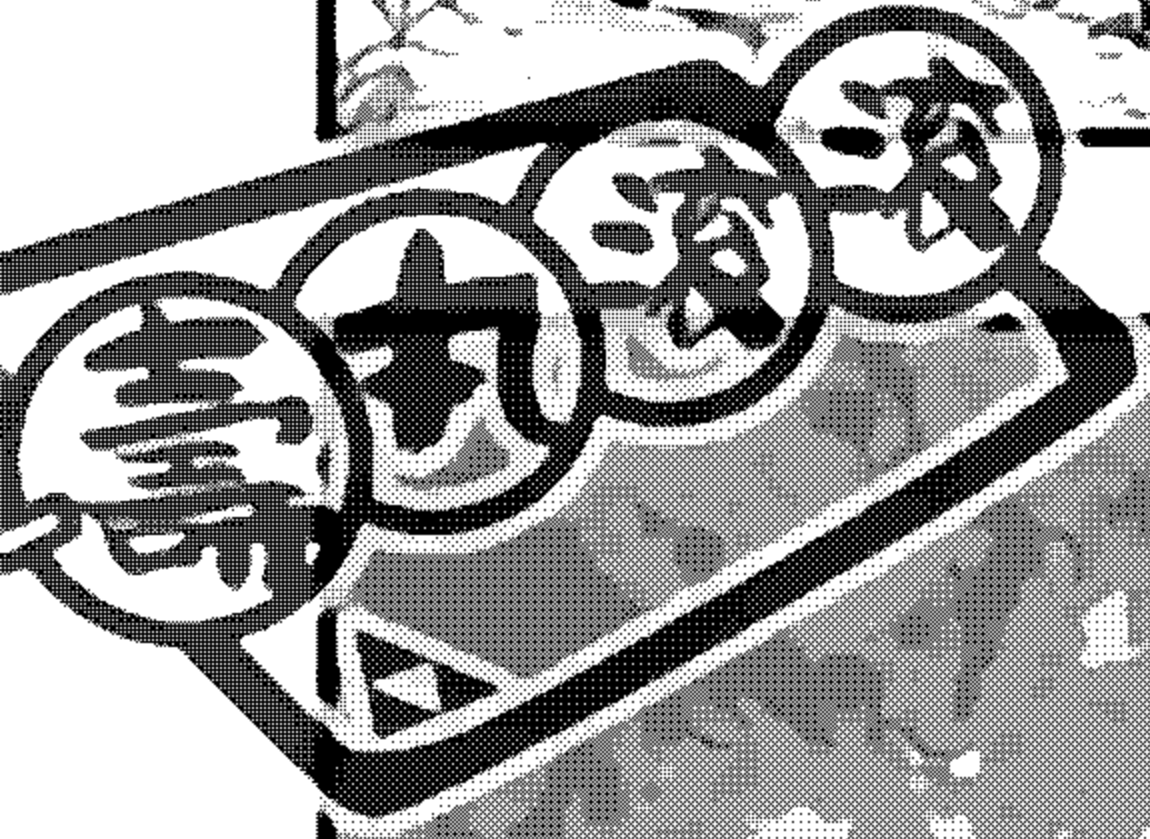
成功將傷亡
降至最低



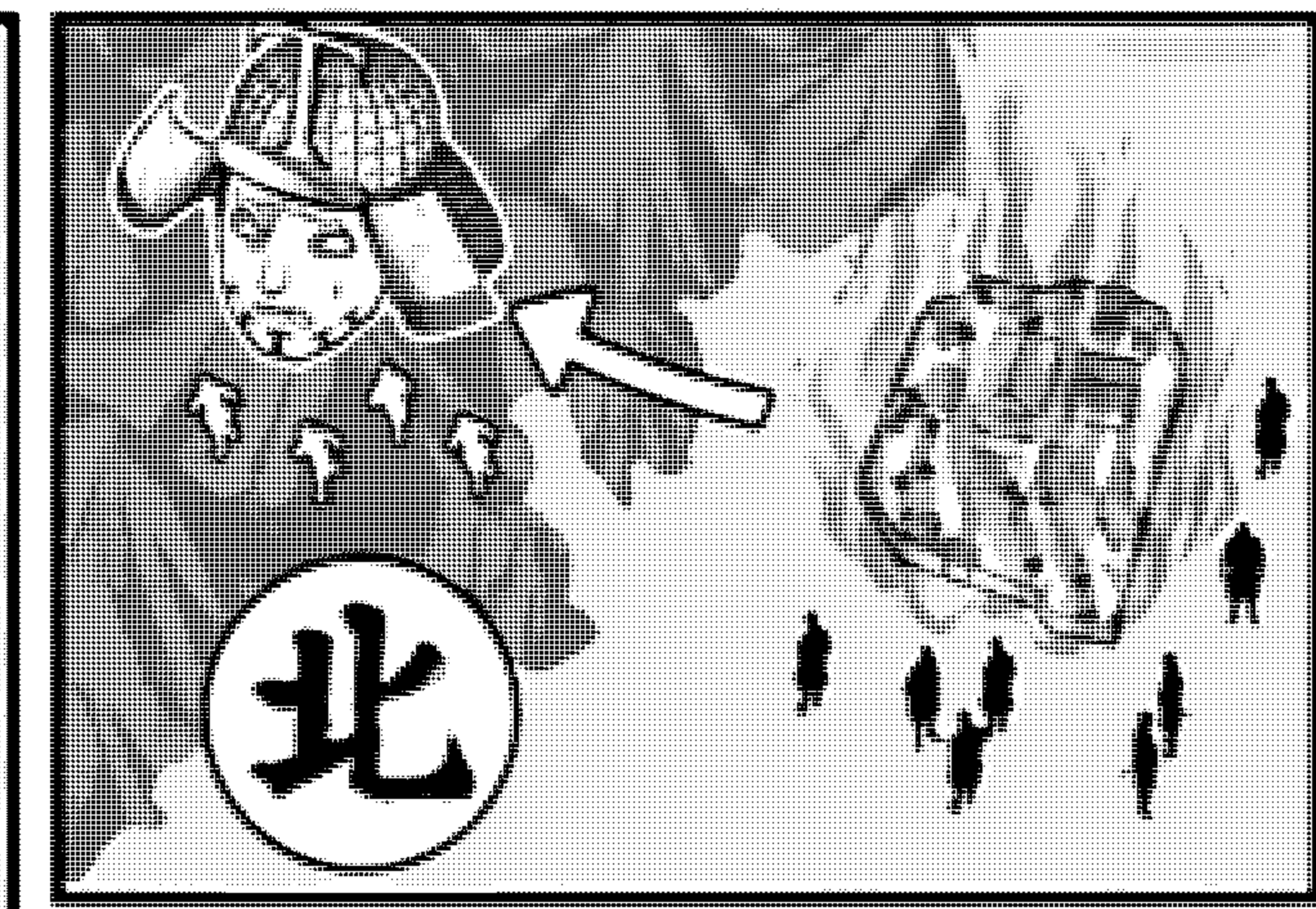
國司則
趁亂逃跑了



失去勝算的
「北部」常岩殿下
和「南部」大甘殿下
逃往山中



諏訪神黨勉強在
保科殿下的
領地內
阻擋了敵襲



~~四宮領~~

國司領



保科領

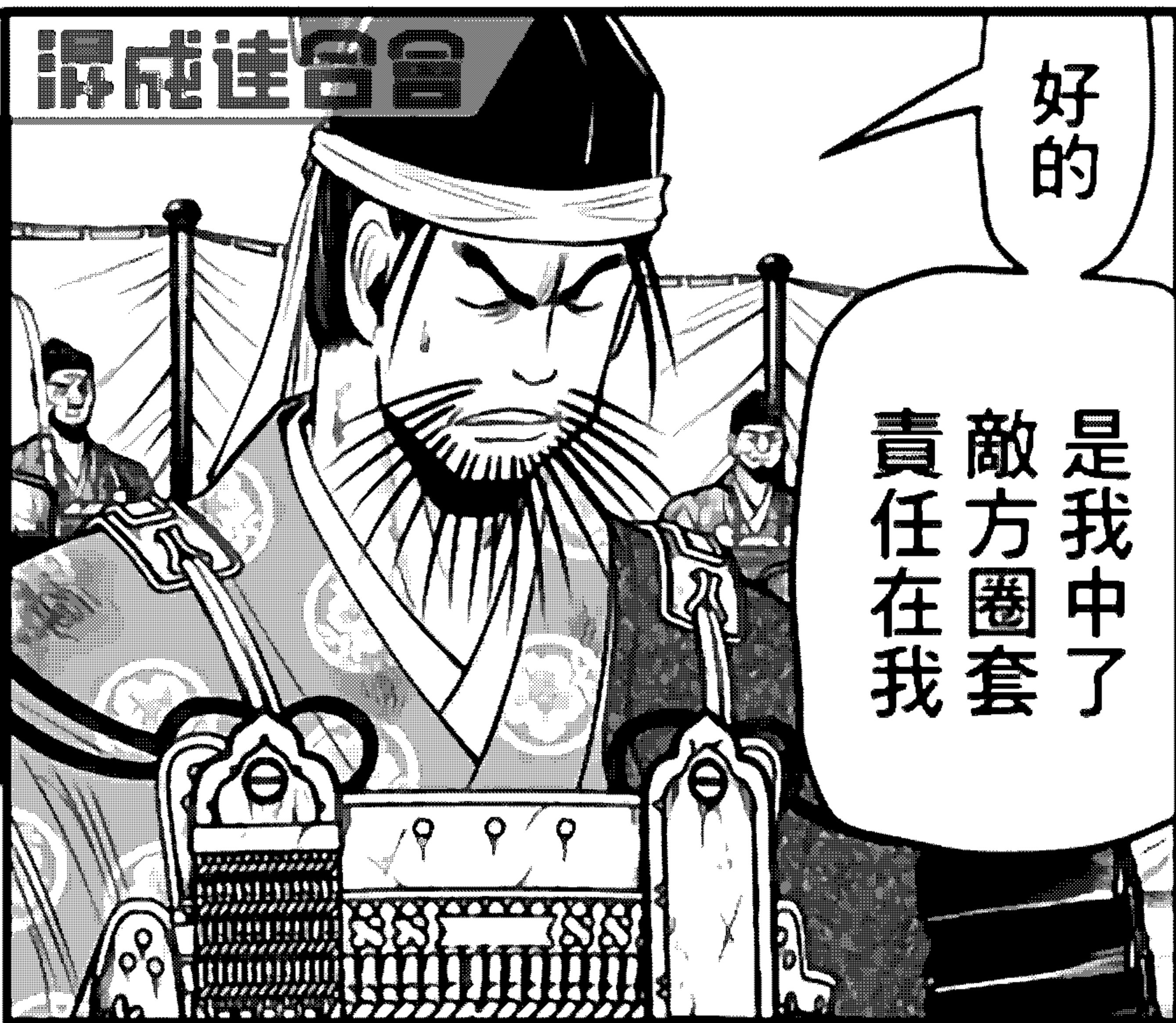


國司領

卻依然
在這次戰爭中
失去了
大片領地



中

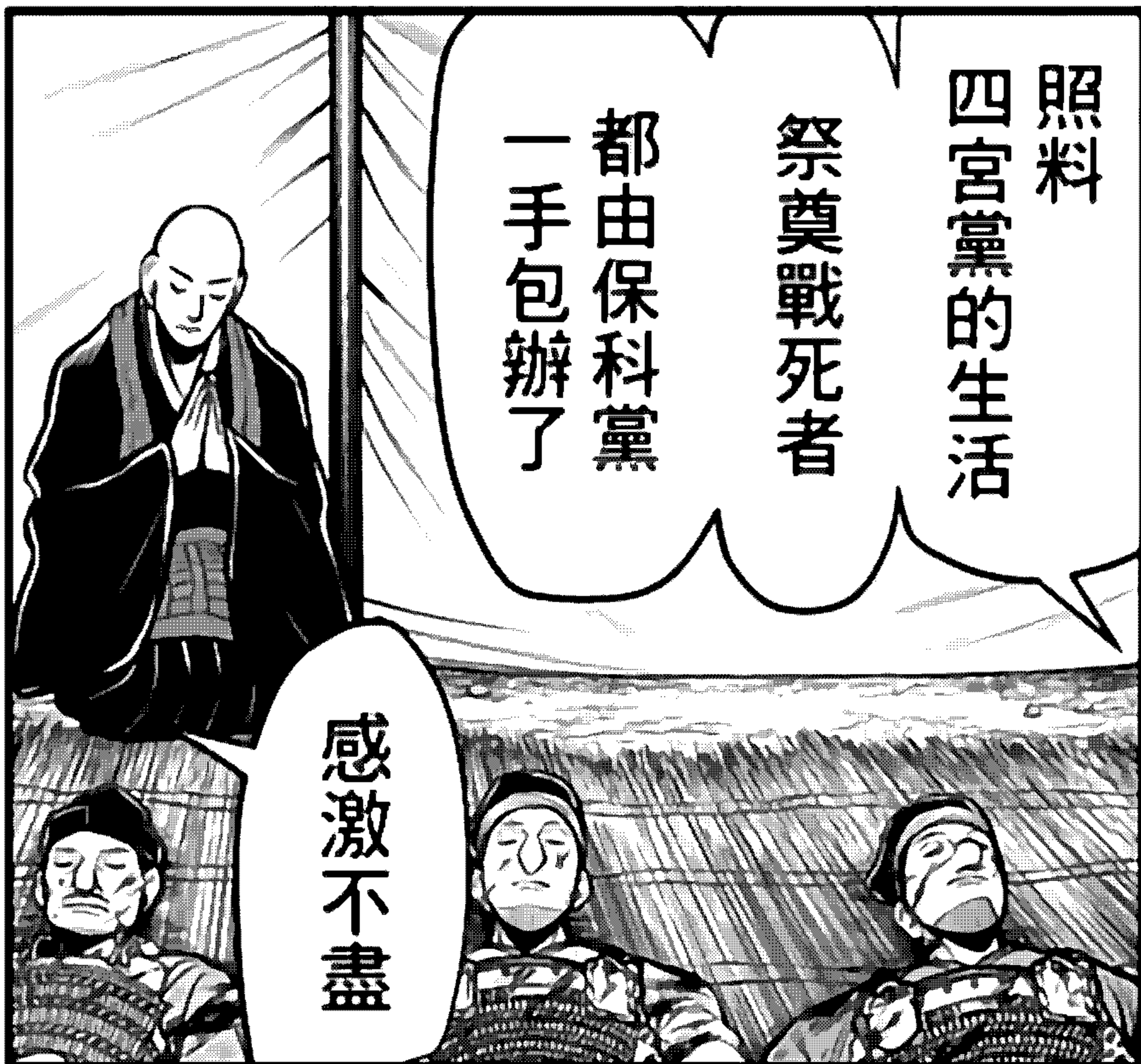


好的

是我中了
敵方圈套
責任在我



雖然不甘心
但還是拜託了
彌三郎



照料
四宮黨的生活

祭奠戰死者

都由保科黨
一手包辦了

感激不盡



有了四宮殿下
就能以一當百!!

下次一定要
宰了那幫人!!

哦
嗯...

保科黨和
我家郎黨
溫差好大

草食係佔多數



……
倒也不賴



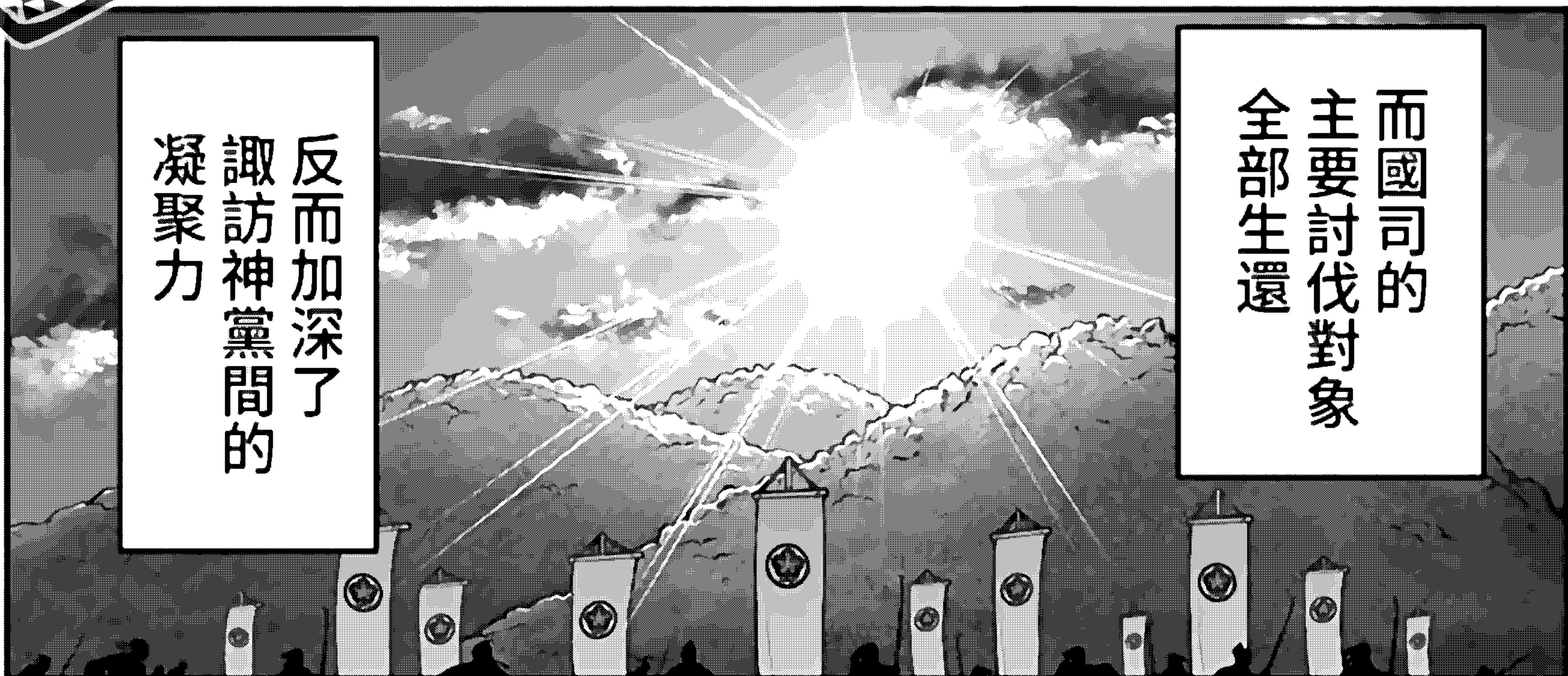
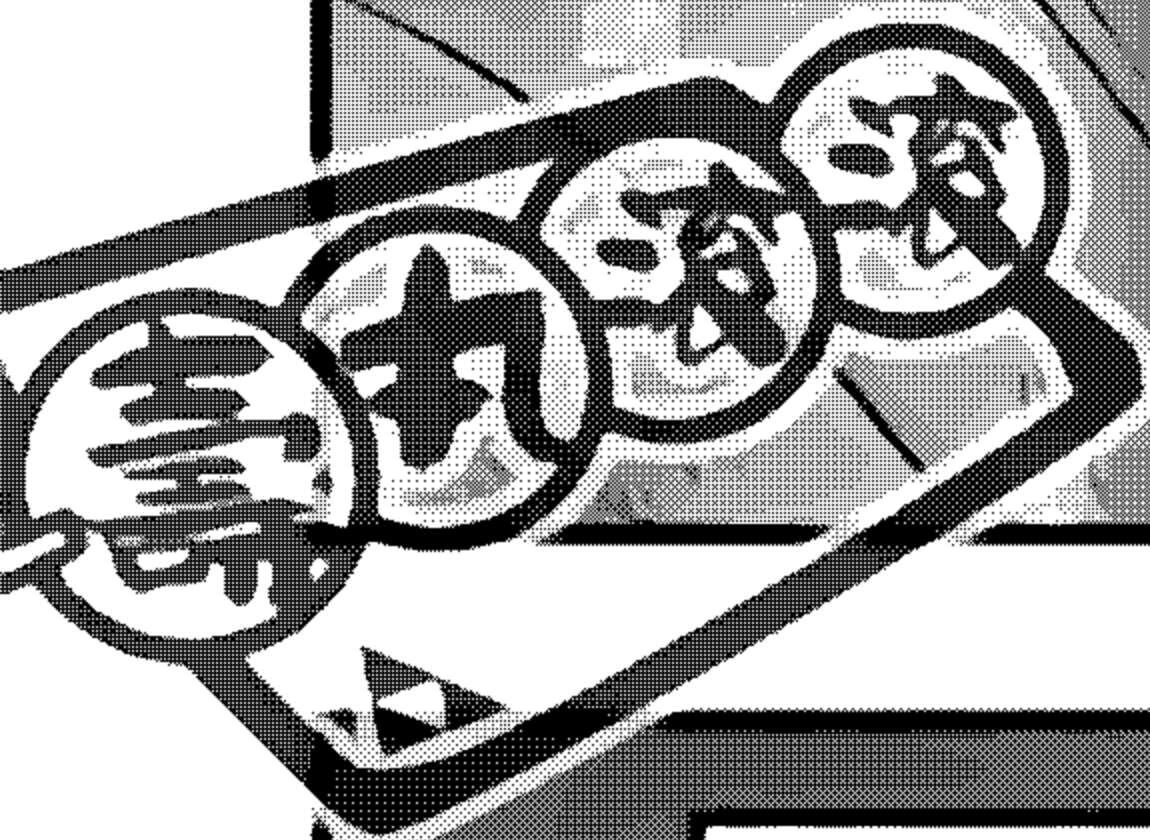
不如乾脆
兩黨合併吧

為了今後的戰事
還是團結起來
更方便行動



我們確實聽到了
諏訪明神必將崛起

只要能
活著迎來那一天
我甘願赴湯蹈火！



而國司的
主要討伐對象
全部生還

反而加深了
諏訪神黨間的
凝聚力

對北條的忠心不二
使他們遭受了
長達兩年的欺凌

天皇也終於頒布了
討伐諏訪的綸旨

他們被扣上了
國賊的帽子

罪人共には
ミミズ一匹に
至るまで
所有權は
無いと思え！

照這樣下去
難免會失去
所有領地

只能將一切
賭在結局未知的
大亂上

所有人都心懷
這樣的覺悟

★最新JC4巻はついに1月4日発売//表紙は零//VS国司權を収めた//

逃げ上手の若君

第44話 羈絆1335

松井優征



諏訪大社



進行
無人打擾的
祓禊儀式

祈禱時行大人
你們平安無事



賴重大人
在您一行
上戰場時

總會吩咐手下
在那裡
搭建小屋

襖……

大冷天
還泡在
冰水裡

居然這麼
爲我著想

現在我能
更清楚地
感受到

賴重殿下的目標
和我是一樣的

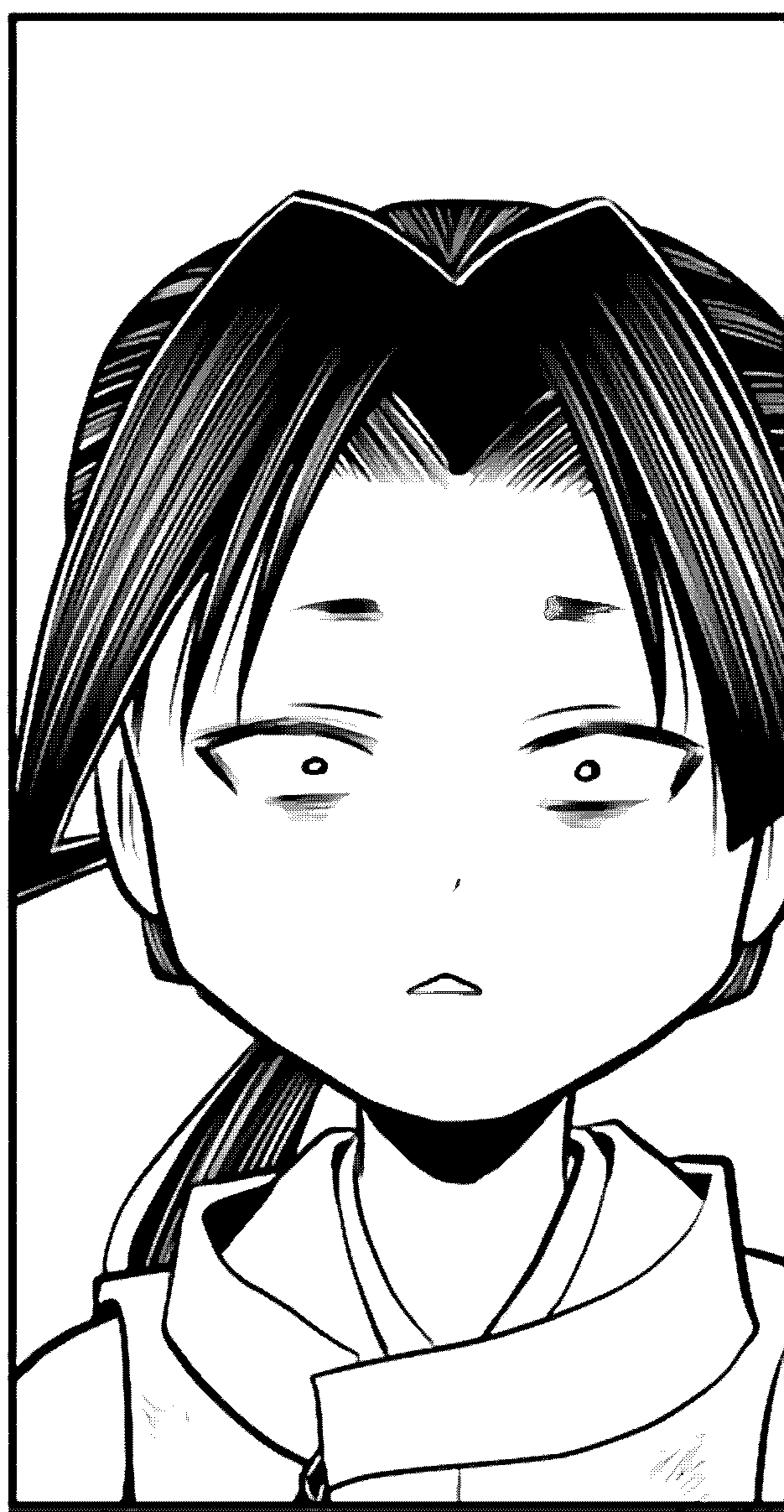
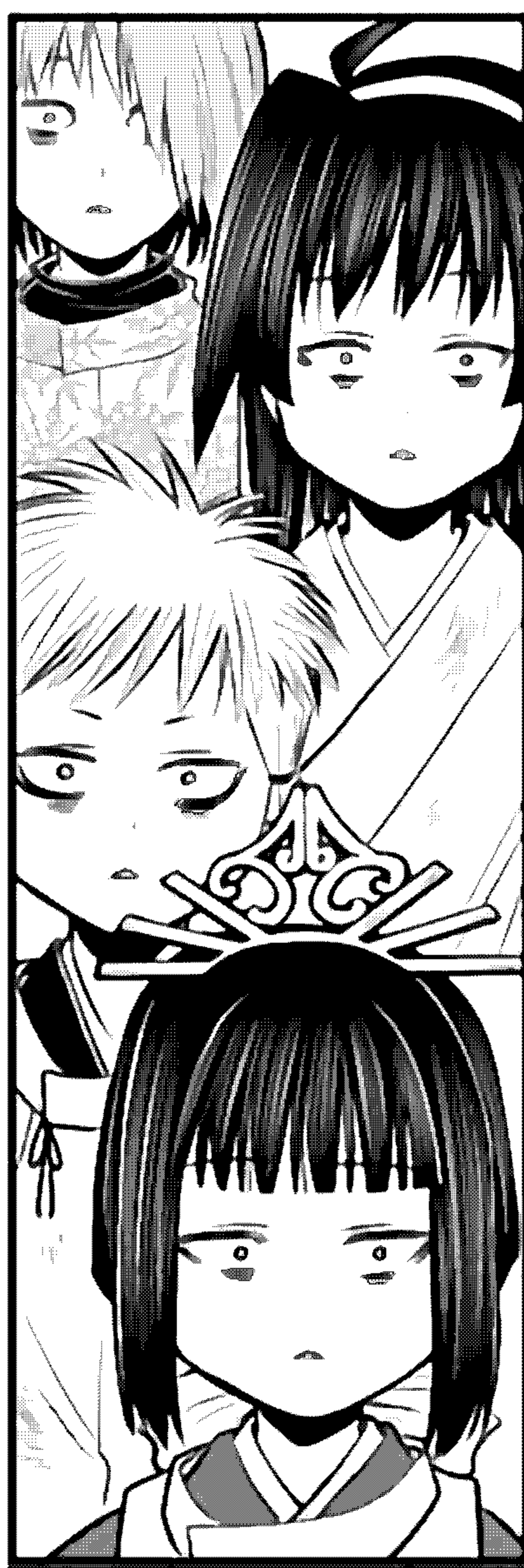
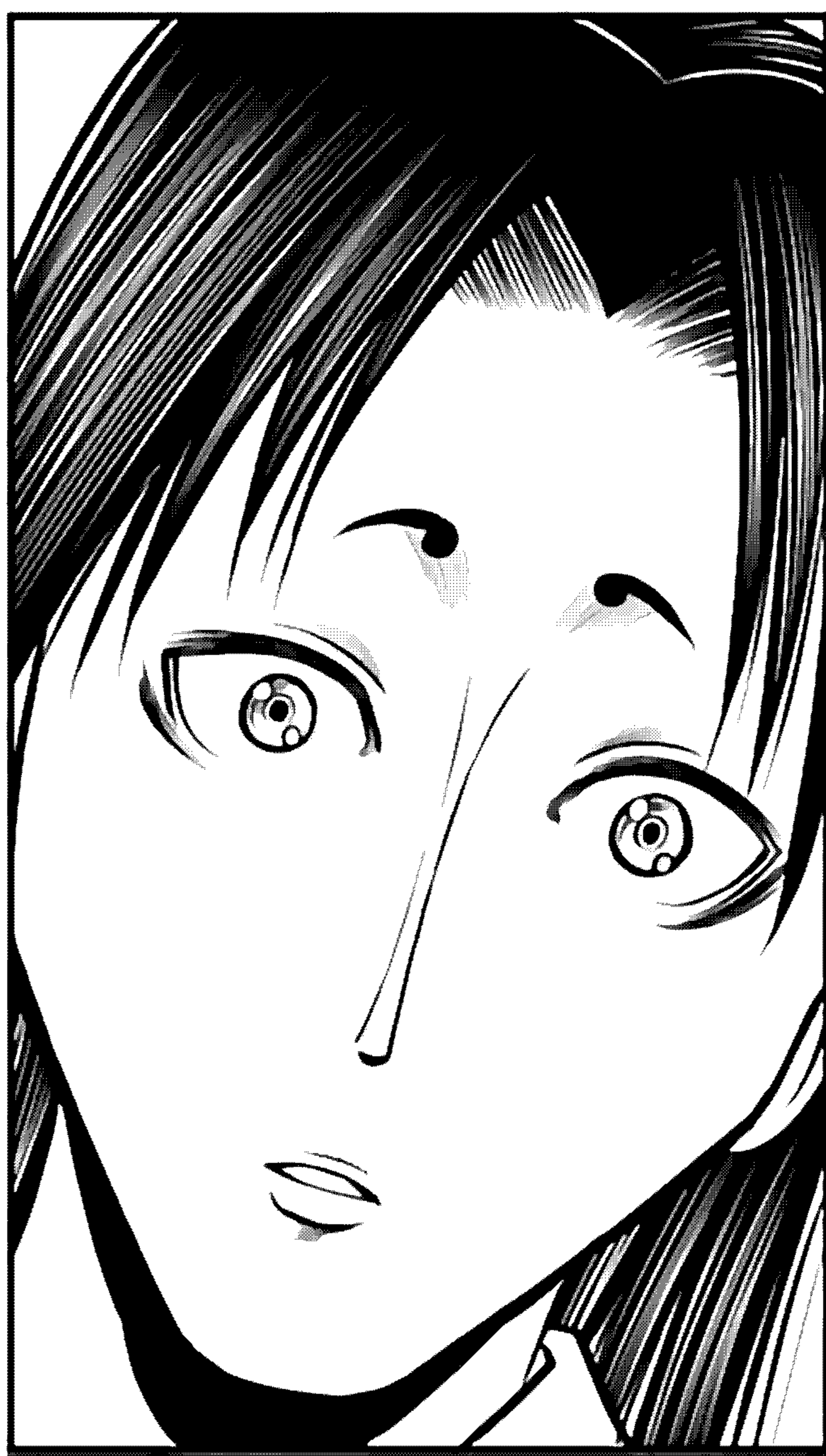
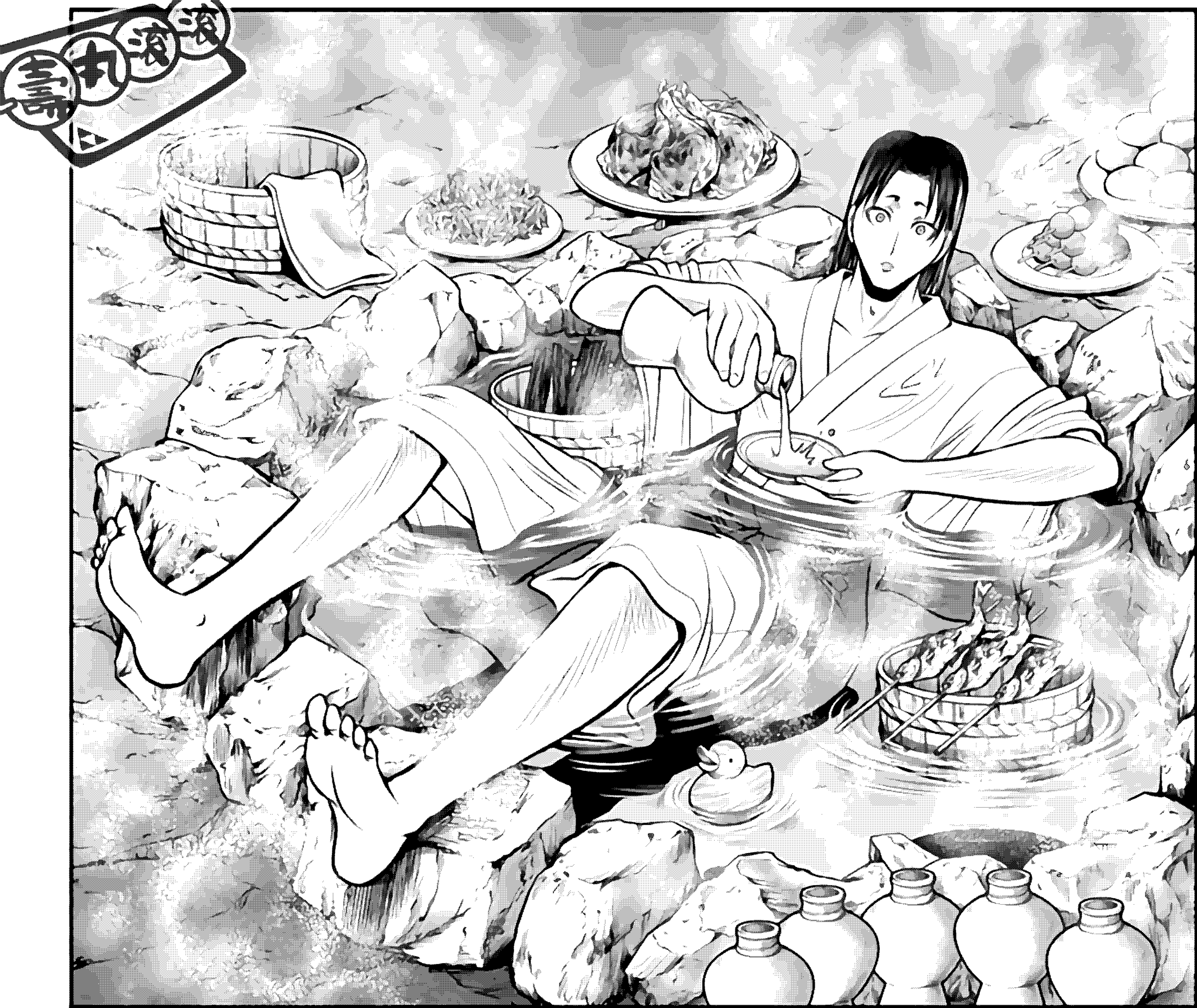
我想幫上
你的忙！

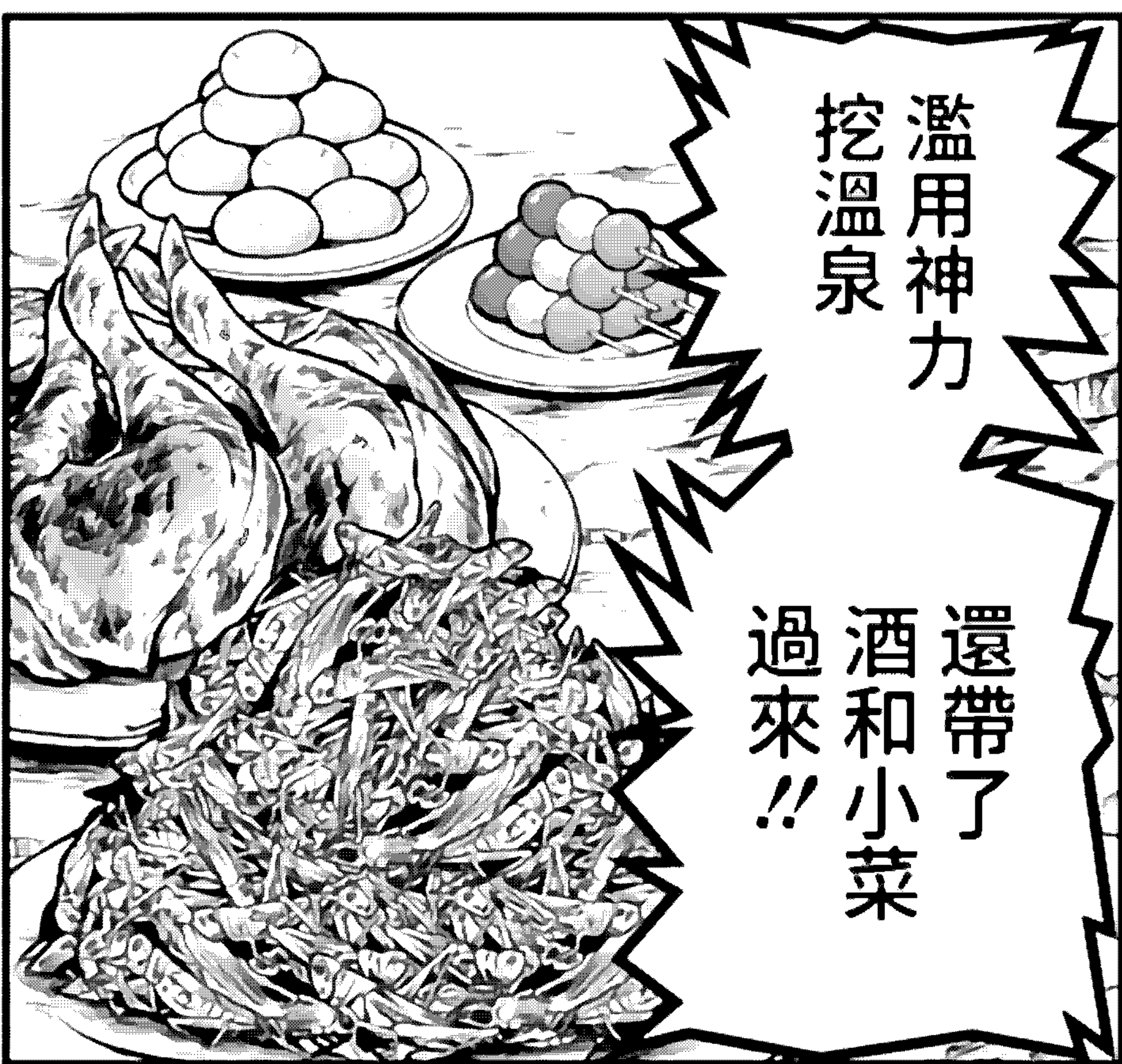
復興北條
就是幫助
信濃的子民

所以我要

和那個人一起
奪回天下！

我
回來了，
賴重殿下！





濫用神力
挖溫泉

還帶了
酒和小菜
過來!!



賴重

泡的是溫泉



別人在
戰場上拼命
你還有臉在這裡逍遙
笨蛋明神!!

誤
誤會啊
直到剛才
都在祓禊

往身上潑熱水
根本是享受嘛!

不
不要緊

又沒有規定
祓禊一定要
用冷水!

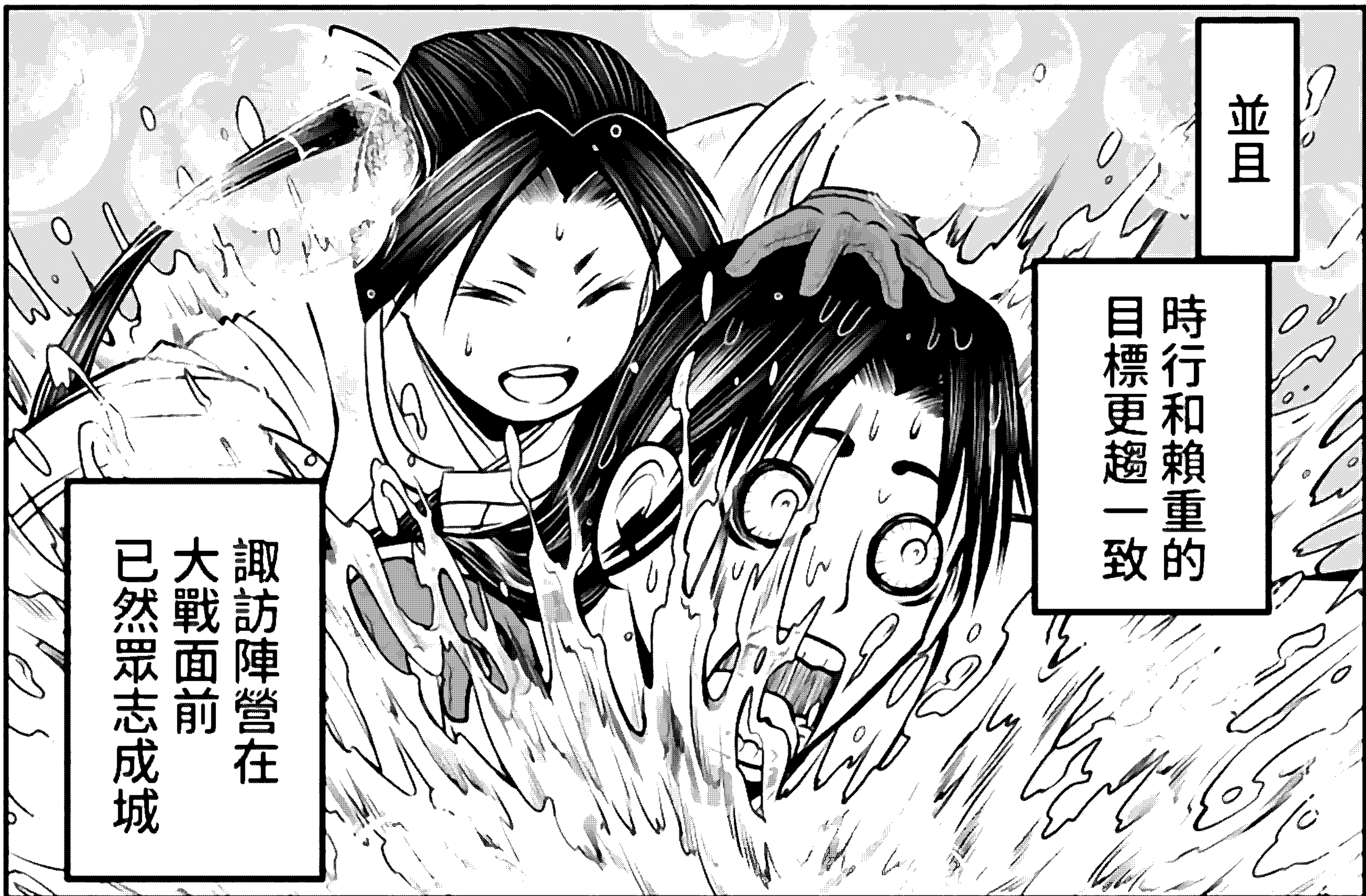
果然
我可能沒法
和這人
一起共事



卻得到了
凝聚力

讓他的點點頭——
唔——

這一戰
諏訪失去了
領地



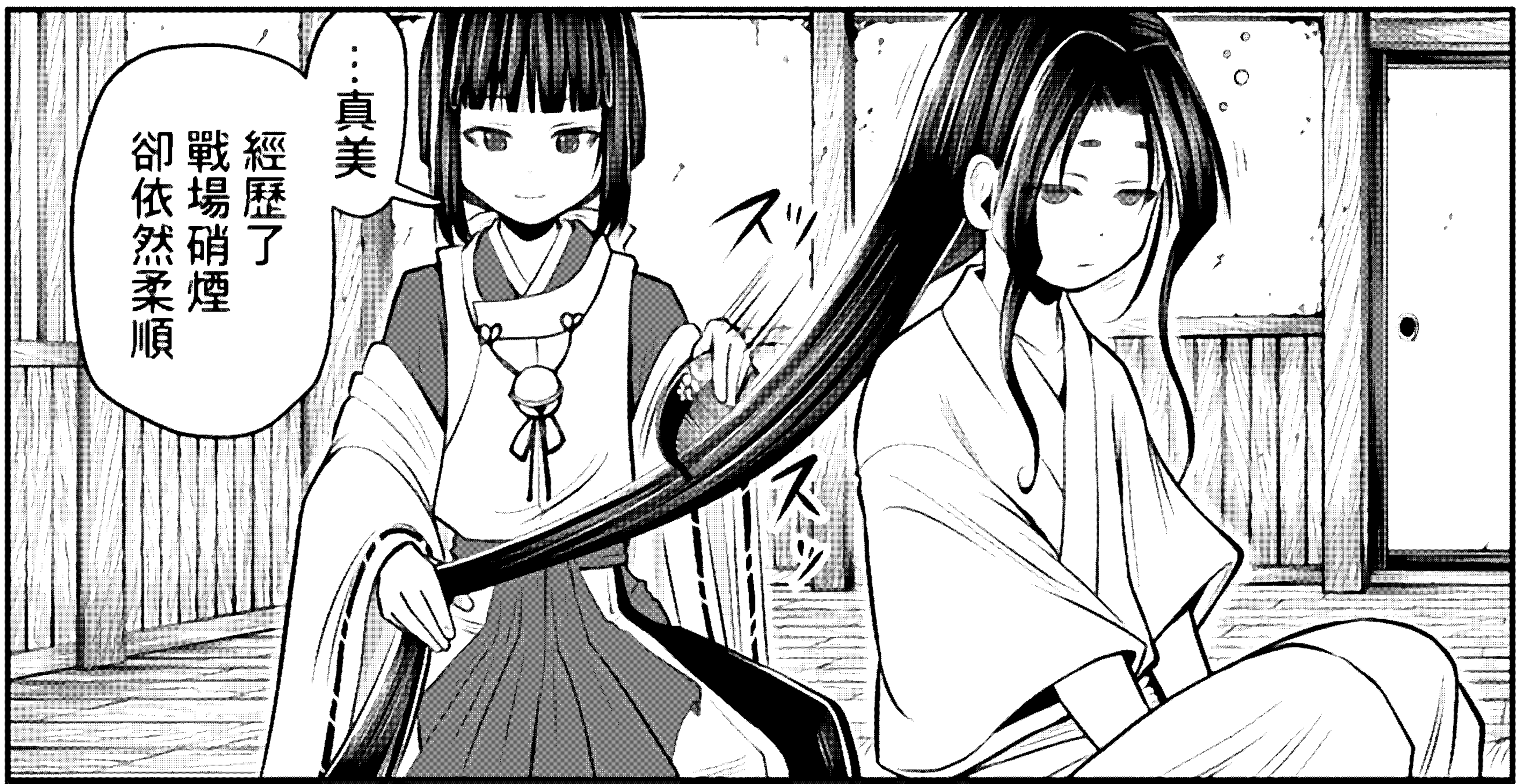
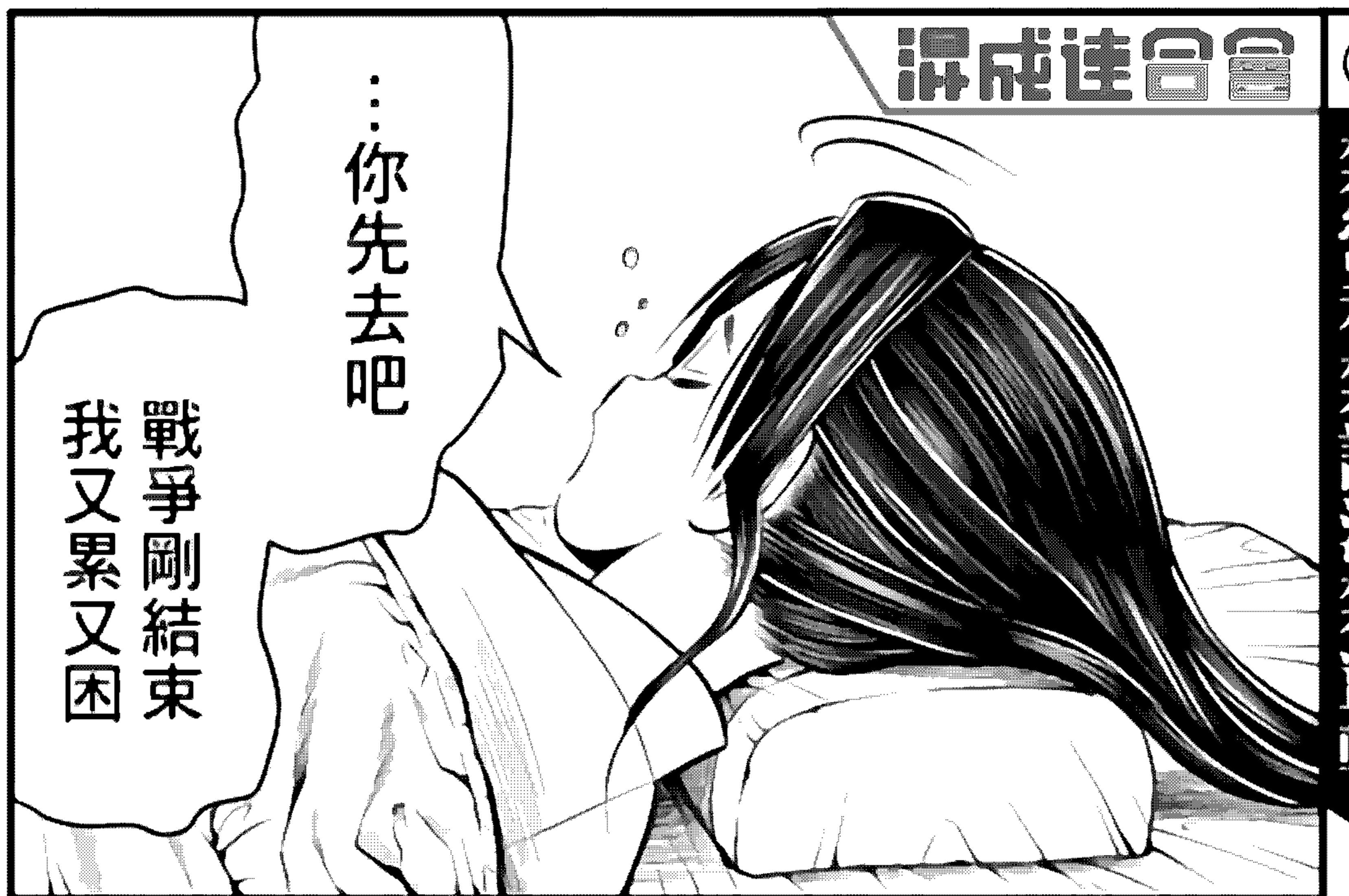
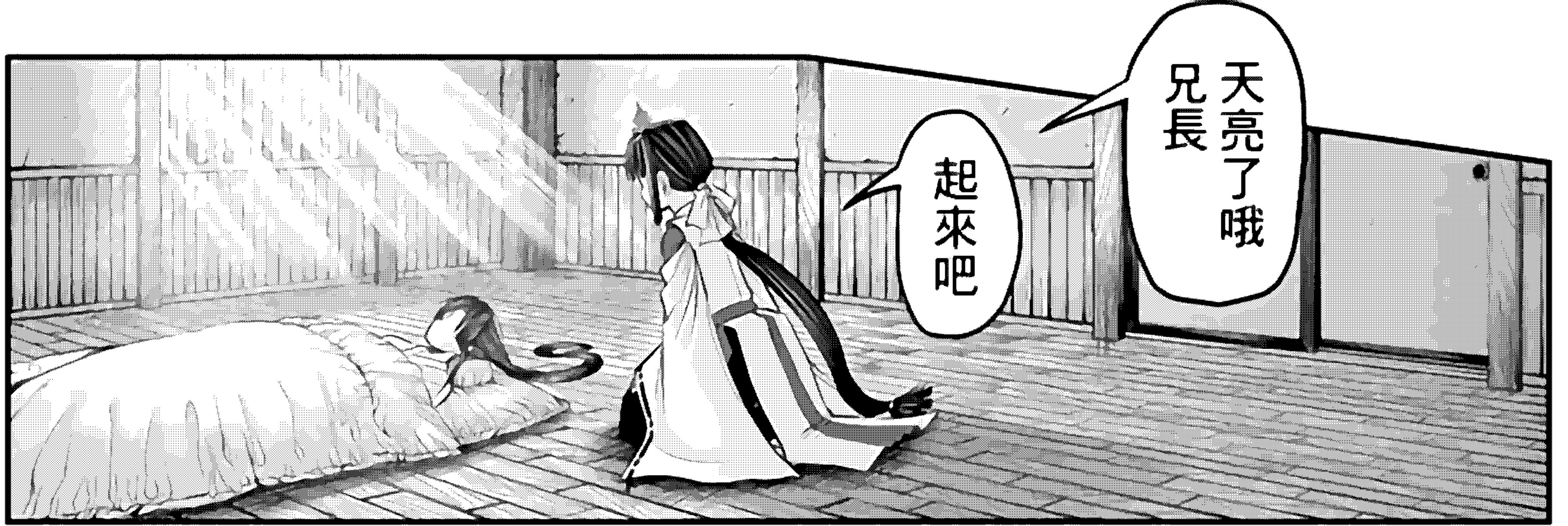
並且

時行和賴重的
目標更趨一致

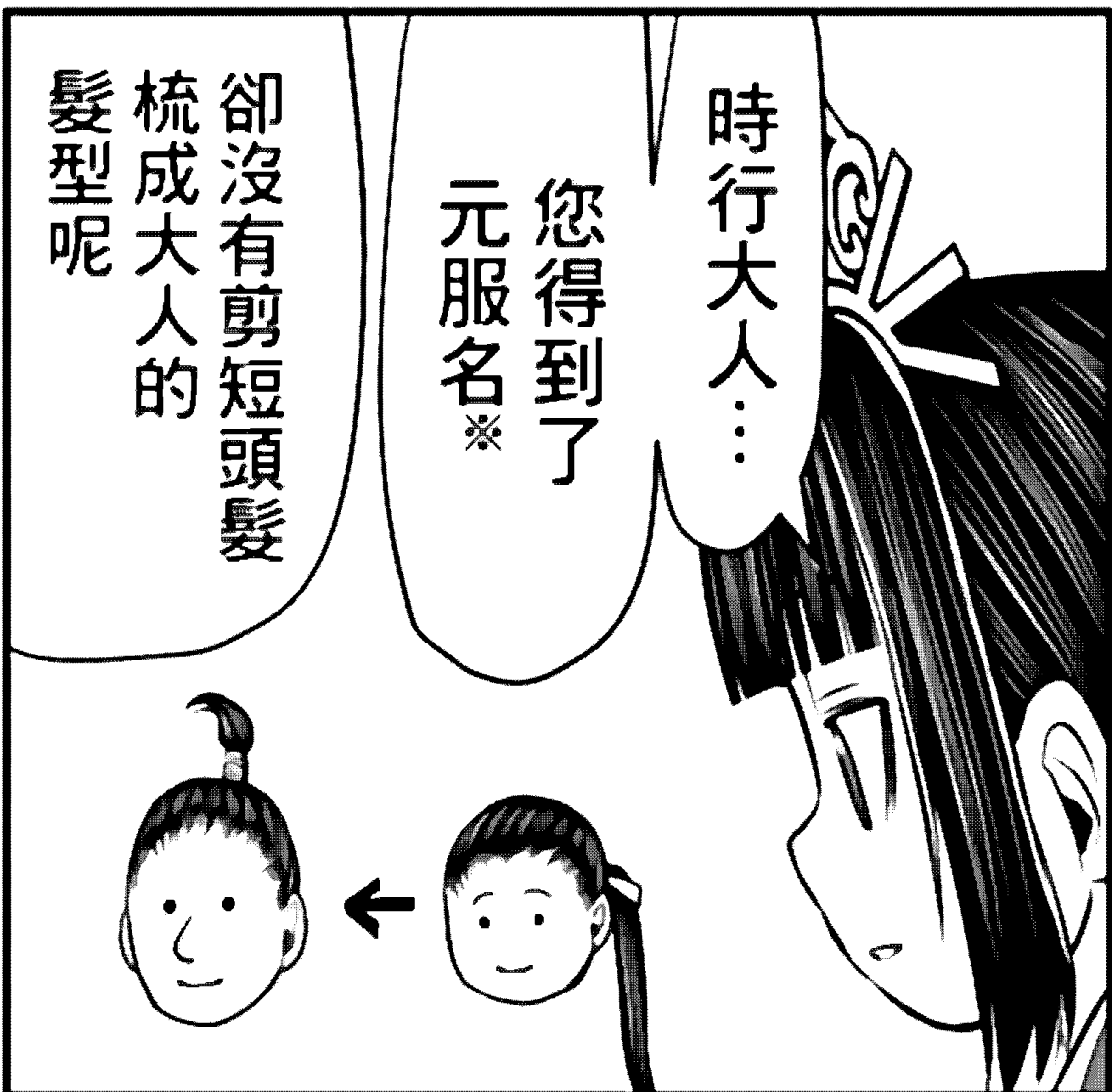
諏訪陣營在
大戰面前
已然眾志成城



……表面是如此



※譯註：古時男子成年戴冠時所取的真名，有別於乳名。



同時

人們認為
小孩身上
原本就寄宿著
神聖的力量

從未剪過
頭髮的孩子
無異於
吉兆的聚集體

因此我才
留著您的
頭髮沒動

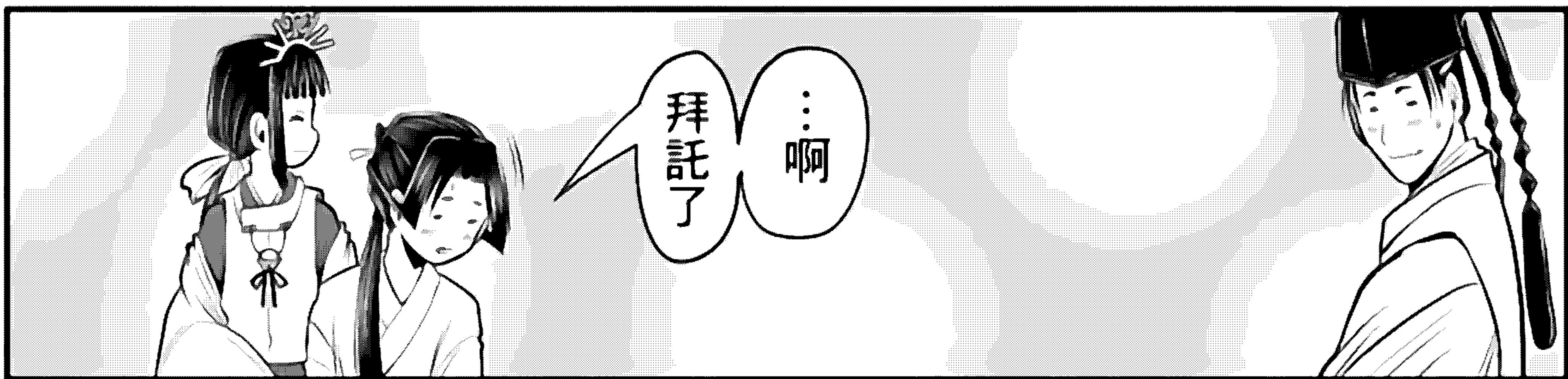
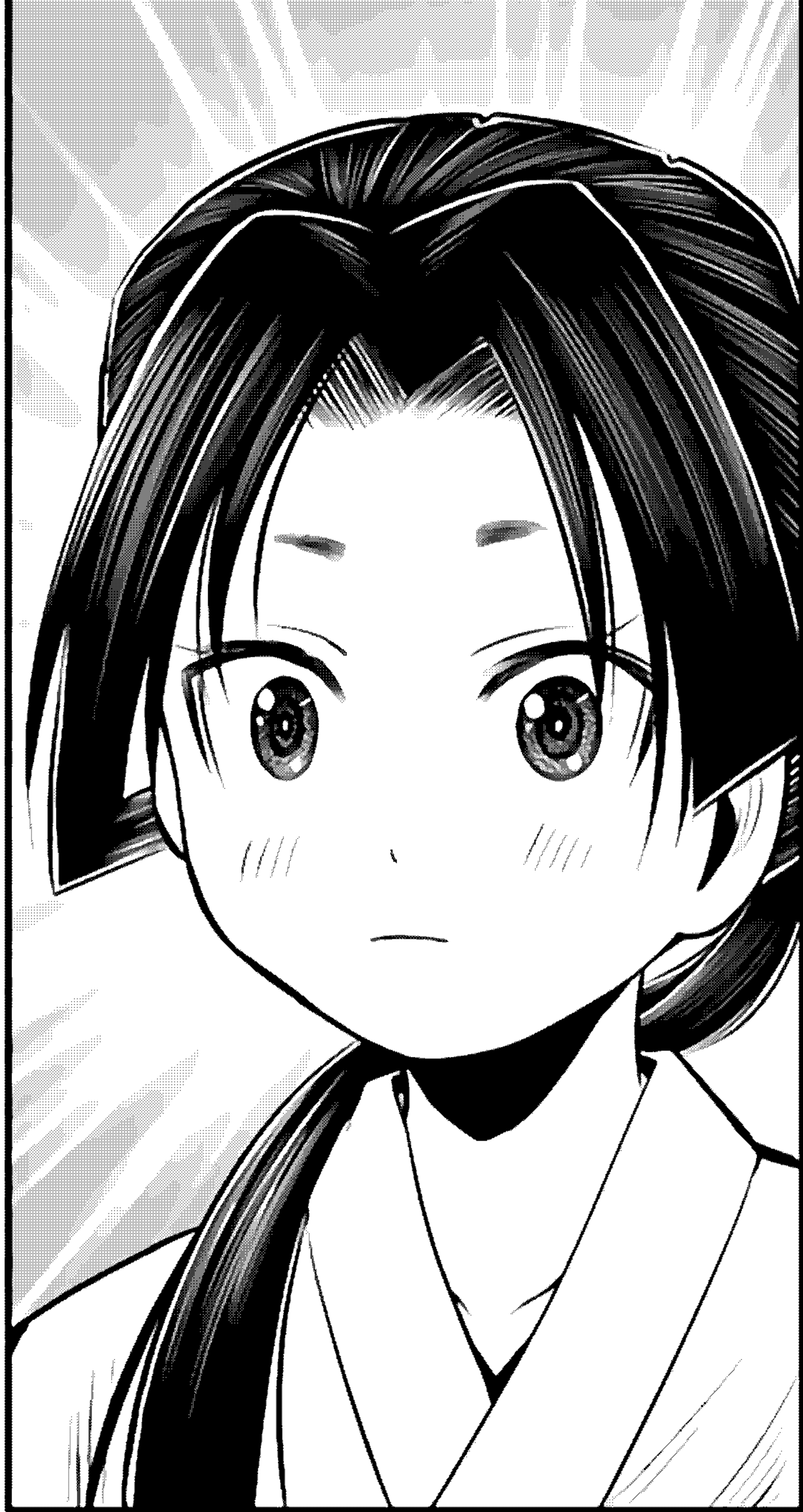
武士
很重視
吉凶

由這樣一個
留著無瑕長髮的
孩子率領軍隊……
他們定會覺得
無往不利

不過

等您成了
一國之君……

就不能再
留著孩子的
長髮了



※成人禮的見證人。等同受禮者的父母。

お早う
ございまする
時行様！

時而把我
玩弄於股掌

時而專治
又任性妄為

時而
嘮嘮叨叨
催我學習

明日寅時に
醒われぬよう
様々な知識を

時而緊緊地
擁抱我

時而
勃然色變地
前來助陣

…原來

我
不知不覺間…

已經把那個人
看作了
自己的父親



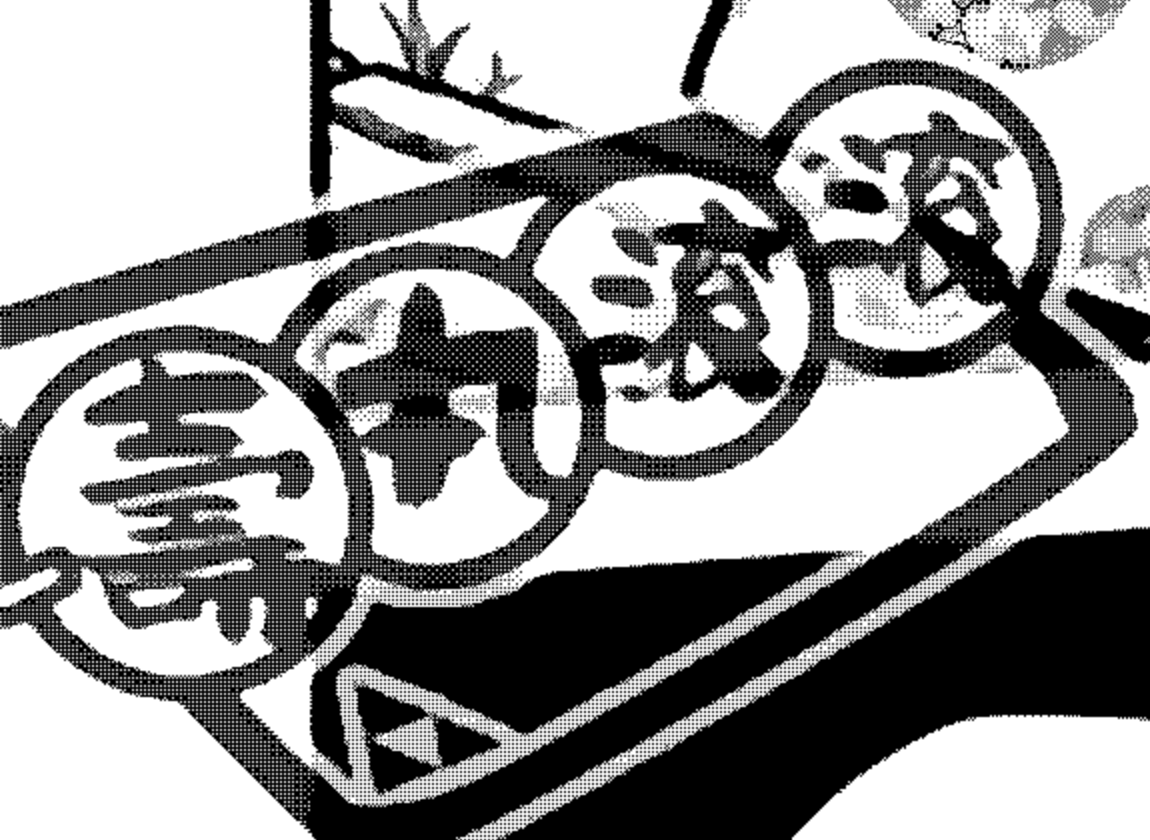
痛……

我已經
成了神

你喂

別仗著自己
是北條之子
被哄了就得忘形

我在你
之上



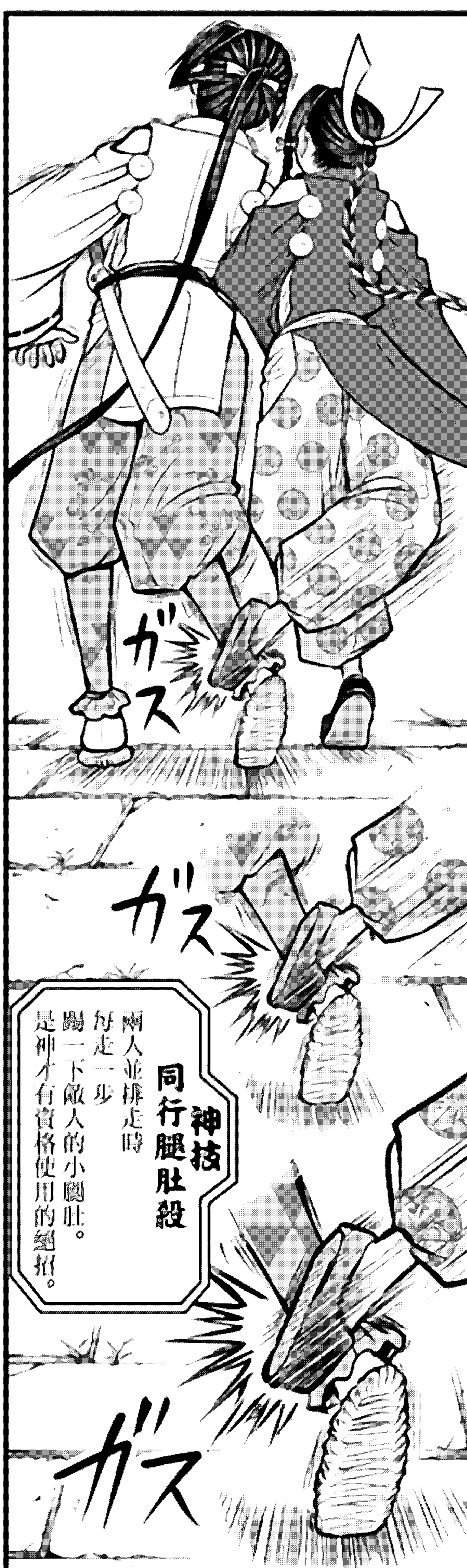




讓我來告訴你
孰優秀孰劣

神和北條
誰才是上位者

諏訪賴重之孫
諏訪賴繼



★不知為何充滿敵意!!

這孩子扭曲到
無可救藥!!

好扭曲!

少主溜得快

第44話

—本話完—

解説上手の若君

戦いに影響する兵法。
学んでいるか否かの
差は非常に大きい！

解説 本郷和人

1960年、亀有生まれ。歴史の研究者で
ある東京大学史料館の教授。おっちゃん
こらよいてテレビや雑誌にも出演する。

武士が学ぶ兵法について

**当時の武士は兵法を
習っていたの？**

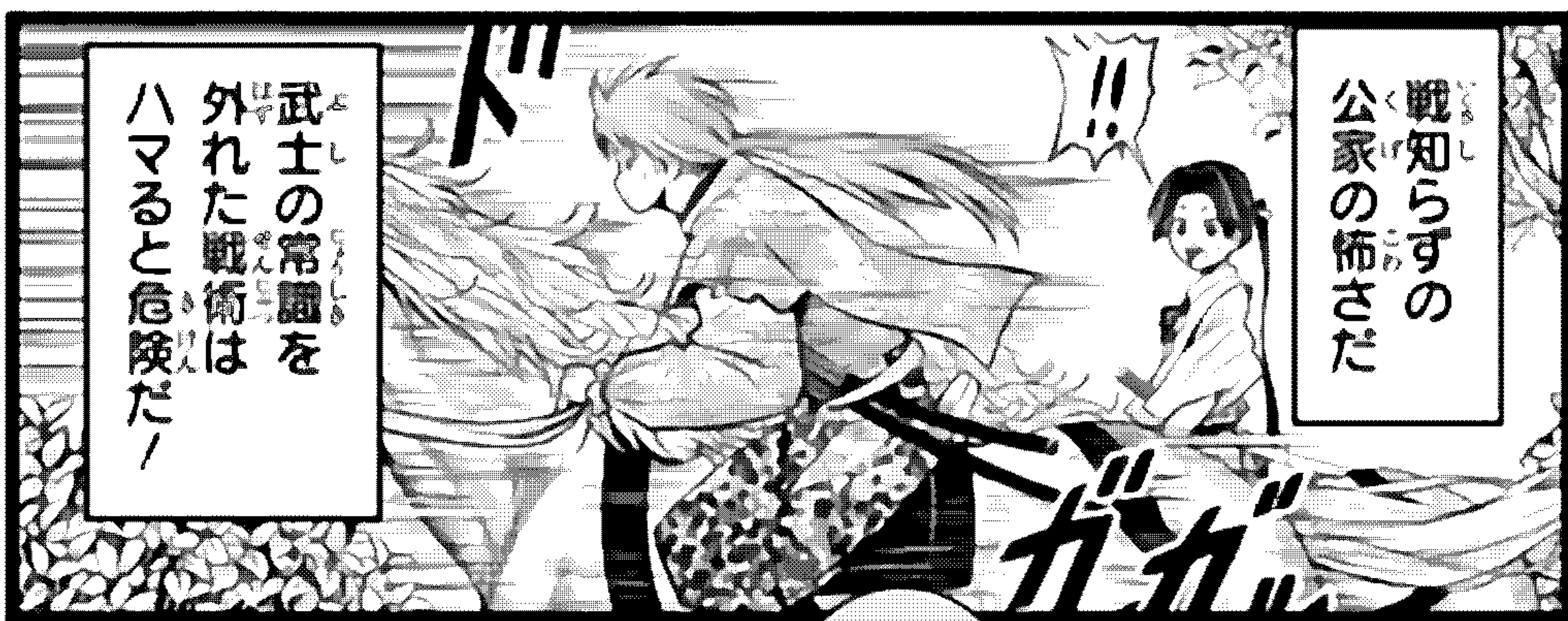
鎌倉幕府を開いた源頼朝のご先祖様で、八幡太郎義家（1039年～1106年）というスーパースターがいました。東北地方の戦いで手柄を立て、そのありさまをえらい人の屋敷で話していると、学者としても有名な大田匡房という貴族がそれを聞いていて、「義家殿は良い武者だが兵法を知らんな」とつぶやきました。それを伝え聞いた義家は匡房の屋敷を訪ね、弟子入りを志願し、中国の兵法書を学びました。その後、再び義家は東北の戦いに赴きました。ある戦場できれいに一列に飛んでいた鷹が突然バラバラに乱れたのを見て、あの下に敵がいるに違いない、と攻撃をかけました。すると確かに敵兵がひそんでいて、大勝

常岩宗家

解説に目を通してくれて
感謝している

利を得たのです。義家は、匡房先生に教わった「孫子」の兵法に「鳥が飛び立つのは、その近くに伏兵がいるからである」とあったのを参考したのだ。先生に学問を教わってなかったらヤバかった、と部下たちに言いました（古今著聞集）。

鎌倉時代、足利尊氏や小笠原貞宗などの裕福で有力な武士は、子どもの頃から家庭教師をつけてもらい、「孫子」「呉子」「六韜三略」などの中国の兵法書をしっかり学んで戦場に出たんだと思います。時行も諏訪で、頼重から叩き込まれたんじゃないかな。



聞いたことある？ 有名な兵法書

「孫子」や「呉子」など中国の代表的な7冊の兵法書は「武経七書」とも呼ばれ、現代の生活で役立つ教訓も記されている。

「孫子」	孫武の作とされる。
「呉子」	呉起の作とされる。
「尉繚子」	尉繚の作とされる。
「六韜」	呂尚の作とされる。
「三略」	
「司馬法」	司馬穰苴の作とされる。
「李衛公問对」	太宗と李靖の問答形式となっている。



↑兵法を学べば戦場で臨機応変に動ける。頼重のスパルタ教育で逃げ上手も進化！

卷末語

想要
納米碳管黑體的塗料。
想在牆壁和半空中
肆意開洞。

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

深山大母猴

測試群

648466051

歡迎加入漢化

首發微博

@混成連合會

壽丸滾滾漢化

第44話

少主溜得快

監製

三十二